

九 防 協 創 立 記 念 講 話 会 講 師 及 び テ ー マ ー 覧

昭和45年7月29日 創立

(敬称略)

九州病害虫防除推進協議会

年度(回) 周年	九 州 農 試	野菜試 久留米	果樹試 かんきつ部	福 岡 県	佐 賀 県	長 崎 県	熊 本 県	大 分 県	宮 崎 県	鹿 児 島 県	外 部 講 師
昭48(1) 3		大和 茂八 (野菜栽培) 菅原 祐幸 (野菜作型)							後藤 重喜 (野菜作型と病害虫)		
昭49(2) 4	木村 俊彦 (わい化病ウイルス)			横山佐太正 (わい化病発生と 防除) 行徳 直己 (稲穂加害カラムシ種の 生態) 内田 信義 (稲穂加害カラムシ防除)					後藤 重喜 (稲穂加害カラムシ防除) 永井 清文 (稲穂加害カラムシ生態)		
昭50(3) 5		木曾 皓 (野菜病害問題点)			関 道生 (ハダニ薬剤抵抗性)			藤川 隆 (いもち病菌レース)			福田 秀夫(農水省) 農業行政の現状と今後
昭51(4) 6	古田 力 (水稻病害虫)			宮原 実 (果実カラムシ類の生態)		樋口 泰三 (コブノメイガ 北西九州)	小林 研三 (野菜病害虫防除)			原 敬一 (コブノメイガ 南九州)	
昭52(5) 7	渡辺 文吉郎 (稲穂枯れ生態) 孫工 弥寿雄 (大型種子消毒法)	手塚 信夫 (灰色かび耐性菌)		吉田 桂輔 (穂枯れ防除)			山本 滋 (柑橘病害虫防除)				
昭53(6) 8	新海 昭 (稲ウイルス病)				宮原 和夫 (ツマグロ 北九州)				川越 仁 (野菜病害発生動向)	原 敬一 (ツマグロ/南九州) 河野 通昭 (柑橘病害虫防除)	
昭54(7) 9	平尾 重太郎 (稲害虫発生動向)			吉田 桂輔 (種子消毒と箱施薬)				渡辺 豊 (スプリングター防除)		山下 幸彦 (野菜病害虫の現状)	
昭55(8) 10	創 立 十 周 年 記 念 式										石倉 秀次(残留農業研) 植物防疫の今後
昭56(9) 11	茂木 静夫 (紋枯病防除適期)	葭原 敏夫 (イチゴ根腐萎凋症とセ ンチュウ類との関係) 木曾 皓 (イチゴ根腐萎凋症に 関する研究成果)	田中 学 (殺ダニ剤)			新須 利則 (イチゴ根腐萎凋病の実 態と防除)					西沢 正洋(三笠化学) インドネシアの植物防疫
昭57(10) 12	和田 節 (北九州のコブノメイガ)				貞松 光男 (果樹病害虫防除)			岡留 善次郎 (野菜病害虫)			福田 秀夫(全農) 農業をめぐる諸問題
昭58(11) 13		葭原 敏夫 (野菜花害虫防除)	久原 重松 (柑橘病害発生防除)						岩橋 哲彦 (細霧利用実態)		三原 義秋(元千葉大学・ホルテック代表者) 細霧の発生方法と農業上の利用
昭59(12) 14	中園 和年 (九州での線虫問題)			酒井 久夫 (水稻害虫発生動向)			家入 章 (施設野菜病害虫)	甲斐 一平 (柑橘薬剤防除)			
昭60(13) 15				田中 澄人 (野菜病害発生動向)		大久保 宣雄 (チャキイロアサミウメ)			永井 清文 (宮崎の害虫問題)		栗田 年代(日植防) 農業開発におけるバイオテクノロジー
昭61(14) 16	對馬 誠也 (イネもみ枯細菌病)	孫工 弥寿雄 (野菜病害発生動向)	氏家 武 (天敵利用害虫防除)				清田 洋次 (スクミリンゴガイ)				
昭62(15) 17	新海 昭 (ウイルス病発生動向)			山田 健一 (落葉果樹害虫)	松崎 正文 (佐賀の野菜病害)					深町 三朗 (稲ウンカ防除)	
昭63(16) 18	風野 光 (農業をめぐる情勢)								川越 仁 (野菜の主要病害)	田中 章 (南西諸島の害虫)	持田 作(農研センター) 東南アジアのトビイロウンカ
平 1(17) 19					村岡 実 (チャキイロ発生予察)	小川 義雄 (海外飛来性害虫)		佐藤 俊次 (ハイトク研究の現状)		禮久 保 (ビワ灰斑病)	

昭和45年7月29日 創立

(敬称略)

九州病虫害防除推進協議会

年度(回) 周年	九州農試	野菜試 久留米	果樹試 かんきつ部	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	外部講師
平2(18) 20	創 立 二 十 周 年 記 念 式										岩本 毅(日植防)国際化と植物防疫 小平 祐(農薬工業会)GIFAPについて
平3(19) 21	寒川 一成 (飛来ウカ管理技術)	小林 紀彦 (野菜土壌病害)				森田 昭 (キウイ花腐細菌病)	奥原 國英 (施設野菜害虫)				
平4(20) 22			駒崎 進吉 (アブラムシ 抵抗性)	吉村 大三郎 (イモみ枯細菌病)				吉松 英明 (花き病害診断防除)	岡田 大 (普及現場からの話題)		
平5(21) 23	岩野 正敬 (いもち蔓延機構)						磯田 隆晴 (キウイ果実軟腐病)			上和田 秀美 (サツマイモ害虫の生態)	藤條 純夫(佐賀大学) 長距離移動性昆虫
平6(22) 24	法橋 信彦 (病虫害総合管理)	柏尾 具俊 (天敵利用総合防除)			田代 暢哉 (ブドウ枝膨病)						高浪 洋一(九州大学) 植物ウイルス増殖機構
平7(23) 25			芦原 亘 (果樹ハダニ)							野中壽之(長友繁) (ハマキ顆粒病ウイルス)	梶原 敏宏(日植防) 植物防疫の役割 松山 宣明(九州大学) 植物病原菌簡易同定法
平8(24) 26	河本 征臣 (土壌微生物診断) 和田 節 (熱帯温帯のウカ)			大野 和朗 (天敵利用と問題点)				挟間 渉 (薬剤耐性菌現状と 対策)			
平9(25) 27	佐野 善一 (植物寄生性線虫)			大平 喜男 (果樹カメムシ類)		松尾 和敏 (イチゴ病害虫)					吉田 政博(九州東海大) メロンがんしゅ病
平10(26) 28	花田 薫 (トスポウイルス)							中尾 茂夫 (ブドウ枝膨病の生 態)	三浦 猛夫 (施設栽培野菜の病 害防除)		河原畑 勇(九州大学) 微生物農薬とその利用
平11(27) 29	西 和文 (南方さび病)						行徳 裕 (ミカンキイロア ザミウマ)			神崎 保成 (茶病虫害防除)	八重樫 博志(佐賀大学) いもち病
平12(28) 30	創 立 三 十 周 年 記 念 式										菅原 敏夫(日植防)植物防疫を巡る最近の状況 福田 秀夫(元残留農薬研究所)不思議な話
平13(29) 31				堤 隆文 (果樹カメムシ類の 最新知見)	山口 純一郎 (ナスすすかび病)	森田 昭 (ビワがんしゅ病)					湯川 淳一(九州大学) 昆虫に及ぼす地球温暖化の影響
平14(30) 32	中島 隆 (イネいもち病)							佐藤 俊次 (パラグアイの野菜)		瀬戸口 脩 (奄美の害虫相)	岩井 久(鹿児島大学) フオリガ 大学での研究生活
平15(31) 33	荒井 治喜 (いもち病、雲形病)									田中 章 (研究35年を振り 返って)	加来 久敏(植物病原微生物の感染の多様性と 防除戦略)
平16(32) 34					山口 純一郎 (MBI-D耐性菌) 田代 暢哉(新しい 病虫害管理)		古賀 成司 (熊本県における 想いでの病虫害)				大野 和朗(宮崎大学) 天敵利用における発想の転換
平17(33) 35				嶽本 弘之 (福岡県の施設野菜 におけるIPM-現 状と今後の課題-)							大島 一里(佐賀大学) 植物ウイルスの拡散 石井 英夫((独)農業環境技術研究所) 薬剤耐性菌 堀 眞雄(前住友化学株) 私が薫陶を受けた3人の研究者

昭和45年7月29日 創立

(敬称略)

九州病害虫防除推進協議会

年度(回) 周年	九州農試	野菜試 久留米	果樹試 かんきつ部	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	外部講師
平18(34) 36	松村 正哉 (長距離移動性イナガ類の発生動向)							檜原 稔 (ミカンサビダニの防除対策)			内田 又左衛門(農薬工業会) ポジティブリスト対策と農・食の安全安心 川上 清隆(全国植物検疫協会) 我が国の植物検疫
平19(35) 37						横溝 徹世敏(私が出会った虫たち)	行徳 裕 (タバココナジラミ巡る諸問題)			牟田 辰朗 (鹿児島県の病害との巡りあい)	高木 正見(九州大学) 九州における伝統的生物防除の過去・未来
平20(36) 38								挾間 涉 (<i>Corynespora cassicola</i> を巡る諸問題)			土屋 健一(九州大学) 青枯病菌の多様性と病害防除について 野中 福次(九州病害虫防除推進協議会前会長) わが80余年の人生を省みて
平21(37) 39					村岡 実 (佐賀県に於ける果樹害虫の課題) 御厨 初子 (農薬を中心とした佐賀県での研究)						高浪 洋一(九州病害虫防除推進協議会会長) 農作物の病害と人間の生活、歴史との関わり 曾根 信三郎(バイエルクロップサイエンス) 農薬の開発から見た植物防疫
平22(38) 40	一般社団法人発会式・創立四十周年記念講話会										横山佐太正(前九防協常務理事) 九州病害虫防除推進協議会創立40周年に想う 上路雅子(日本植物防疫協会技術顧問) 農薬の変遷と安全性を巡る動き 松永和紀(科学フリーライター) 食の安全と環境 ～農薬の大きな役割を再認識しよう～
平23(39) 41	和田 節 (水田害虫研究を振り返って)				松崎 正文 (<i>Phytophthora nicotianae</i> によるイチゴ疫病)					上和田 秀美 (鹿児島県におけるミハエ根絶と奄美の自然)	
平24(40) 42				手柴 真弓(カキを加重するアソコカカシラムシの生態と防除)							上宮 健吉(久留米大学) チャトゲコナジラミの生態と分類 吉村 大三郎(前九防協常務理事) 九防協から(社)九防協 -在職10年を振り返って
平25(41) 43									今村 幸久 (研究の思い出 臭化メチル代替技術、新奇発生病害対策)		清水 進(前九州大学大学院教授) 天敵糸状菌による害虫防除と問題 山中 正博(九防協常務理事) チャパネアオカメムシの集合フェロモンを巡る諸問題
平26(42) 44				吉岡 哲也(八女茶の減農薬栽培) 草野 成夫 (果樹のウイルス・ウィット病と診断技術)							鈴木 芳人(前(独)中央農業研究センター室長) 持続的IPMの盲点：殺虫剤抵抗性問題にどう対処するか
平27(43) 45						難波 信行 (野菜の難防除土壌病害に対する臭化メチル代替技術の開発：温湯消毒による種ショウガ根茎腐敗病対策)	森山 美穂 (野菜の難防除土壌病害に対する臭化メチル代替技術の開発：ショウガの根茎腐敗病対策)		榎間 義幸 (野菜の難防除土壌病害に対する臭化メチル代替技術の開発：キュウリのキュウリ緑斑モザイク病対策)	富濱 毅 (野菜の難防除土壌病害に対する臭化メチル代替技術の開発：ヒーマンのモザイク病対策)	樋口 博也(龍谷大学教授) 斑点米カメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメの発生予察技術の開発

昭和45年7月29日 創立

(敬称略)

九州病虫害防除推進協議会

年度(回) 周年	九州農試	野菜試 久留米	果樹試 かんきつ部	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	外部講師
平28(44) 46						菅 康弘 (ハレイン青枯病菌の系統解析および発生生態と防除対策)					高木 正見(九州大学名誉教授) 侵入害虫アブラムシの発生生態と導入天敵の放飼による防除の試み 廣岡 卓(農薬工業会事務局長) 食料生産の重要性と農薬の役割
平29(45) 47											土屋 健一(九州大学名誉教授) 植物細菌病研究との40年 田辺 憲太郎(日本曹達警梯フィールドリサーチステーション) 殺菌剤の耐性菌対策に関わるFRACの取り組み 内山 徹(静岡県農林技術研究所茶業研究センター主任研究員) チャノココクモンハマキの殺虫剤抵抗性および本種の成虫期防除に関する九防協との連携
平30(46) 48				菊原 賢次 (キウイフルーツかいよう病Psa3系統の発生生態と防除対策)	菖蒲 信一郎 (佐賀県におけるタマネギべと病の被害と本病の防除対策について)				松浦 明 (宮崎県で確認されたネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシの薬剤感受性と生物学的性質)		
2019(46) 49	平八重 一之 (研究者生活33年間を振り返って)									井上 栄明 (研究余話～昭和から平成にかけての害虫防除試験について～)	中野 昭雄(徳島県立農林水産総合技術支援センター高度技術支援課副課長) 徳島県のモモ産地におけるクビアカツヤカミキリの発生状況とその防除対策について